

組合だより

第22号

目次

- 1 組合長挨拶・林大研修
- 2 森林経営委託契約・鳥獣害被害
- 3 都の森づくり事業
- 4 円安と木材価格・寒い冬にホットな話題・きのこ椎茸種コマ

発行所 京都市森林組合 TEL075-722-3622
〒603-8011京都市北区上賀茂二軒家町9番地

新年のご挨拶

代表理事組合長 吉田英治

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には夢あふれる輝かしい平成27年の新春をさわやかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は何かと組合運営に多大なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

去年はアベノミクスに明けアベノミクスに暮れた1年でした。1昨年18号台風に続き8月豪雨

により管内の林道が被災を受けました。林道は林業にとって、なくてはならないインフラです。復旧に国の支援を得るには時間と手間が掛かる一方、地元の負担調整も必要になります。

ご承知のとおり林業情勢が厳しい現状に至っては、負担の目途もつかなく復旧を断念する事案も出て参りました。

森林を公共財産とするならば今後抜本的な改善が必要ではないでしょうか。

本年は乙羊の年、草木の幼芽が今まさに伸びようとし実は成熟し滋味も増してくる年だそうです。また古来より「羊雲がでると吉祥事がある」、「朝、羊の群れに会うと良いことがある」等と言われ、羊は縁起の良い動物とされています。本年こそ災害もなく景気が上向き、組合員の皆様におかれては、お健やかで平らかな年であることを祈念し年頭のご挨拶とさせていただきます。

林業大生が研修に来ました！

京都府立林業大学から、2年生の2人が10月から1ヶ月間研修にきました。

伐木作業を中心に、職員の指導を受けながら熱心に取り組んでいました。研修も終わりに近づく頃には、研修当初と比べてかなりスムーズに作業が出来るようになっており、あと少しで研修が終わってしまうのが残念なくらいでした。



社会に出るまで、あと僅かな時間しかありませんが、貴重な学びの時間を大切に、林業界での飛躍を夢見て、頑張ってください。



京都市森林組合森林経営（管理）委託契約



平成24年度当初から始めた京都市森林組合森林経営（管理）委託契約ですが、組合員の皆様より様々なお声をいただきながら約270名、4,750haの契約締結をいただきました。

これは森林組合の今までにない新しい取り組みです。

まだまだ、皆様に対するご説明が不十分な部分も多いと思ひ、下記に具体的な内容を簡単に載せさせていただきます。詳しく知りたいと思われる組合員様、ご連絡をお待ちしております。

《森林経営（管理）委託契約の注意すべきポイント》

- 1, 契約対象森林は原則として所有山林の全てです。
- 2, 契約期間は10年間
- 3, 委託事項は造林、保育、間伐に関わる森林施業。林道等の開設。各種補助事業等の申請、実施、受領に関する事。間伐及び林道等の作設に伴って発生する伐採木の販売。森林の保護に関する施策。

ポイント↓

前述の事項の実施にあたり無償または補助金及び間伐材のなど事業実施に伴い発生する林産物等の収益の範囲で行うことの出来る作業は森林所有者に事前に承諾をとらない。

- 4, 活動報告は年1回行う。
- 5, 森林組合が外部の団体及び個人に作業を委託する場合がある。
- 6, 森林経営計画は森林組合が樹立する。
- 7, 費用の自己負担が発生する場合は、森林所有者に事前の承諾を得たうえで実施する。

※ 費用負担が発生する作業を断ることも可能です。

- 8, 損害の補填は森林組合に直接的な責任がある場合以外は補填しない。

[森林組合が補填しない具体的な例]

間伐を実施した後の伐採木の雪害等気象災害。

自然災害等による倒木による人的器物損害。

ポイント↓

- 9, 委託事項が実施出来ない場合が多分にある。
- 10, 委託費は原則無料です。

鳥獣害被害について



農山村地域においては過疎化、高齢化といった社会構造や野生鳥獣の生息環境の変化により、鳥獣による農林被害が発生しており、とりわけ鹿による農林産物への食害は深刻です。何年か前ですが弊組合が組合員様より依頼いただいたヒノキ植林地が一夜にして全滅（食害）した経験もありました。様々な防止策を講じましたが、完全な防護は困難でした。

京都府も有害捕獲として平成25年度には約1万頭、狩猟捕獲と合わせて1万8千頭の捕獲を実施されていますが、問題解消には時間が掛かりそうです。

二ホンジカは20年で9倍に増え、さらに今から10年後には今の倍くらいまで増殖するとの試算もあるようです。

なぜシカはここまで増えてしまったのでしょうか？昔はオオカミや人間がシカの天敵となり、生態系のバランスがとれていましたが、明治の末頃にオオカミが絶滅。戦後は肉や毛皮の需要がなくなり、シカの天敵がいなくなりました。

また、近年の温暖化による暖冬で、冬になっても生き延びる個体数が増え、もともと繁殖力の高いシカはみるみるうちに増殖していったものと思われます。

ここで、とても興味を引いたYAHOO!ニュースに掲載された静岡県の新しい駆除の取り組みを紹介します。硝酸塩の入った餌で駆除する方法です。硝酸塩が反芻動物（一度胃に入れたものを口に戻し、徐々に消化する動物）の胃に入ると、細菌により亜硝酸塩に変化、本来は体中へ酸素を運ぶ働きをする赤血球が、その能力を奪われ酸欠に陥り死に至る、とのこと。ワナや銃を使って行う駆除より、人間への危険が少ないとし、他の動物への安全性を確認しながら実用化を目指しているようです。

生態系全体を保護するとともに、生物多様性を維持し人と鳥獣との共生を図っていくことが重要な課題ではあるのは承知していますが、山側サイドからすると生態系のバランスが崩れ深刻な事態を招いている増えすぎた個体数は駆除するほかありません。1日も早く被害の減少が実感できるようになればと思います。



都の森づくり事業(大原野村工区)を終えて



今年度春より実施した大原野村工区が無事終了致しました。関係各位には多大なるご協力を賜り、誠に有り難うございました。お世話になりました山主(組合員)さまより感想を頂戴しましたので、ご紹介させていただきます。

森林整備事業に感銘



大原野村町
小塩 敬治氏

森林組合から間伐の提案を聞き果たして如何なるものかと思いましたが、作業を目の当たりにして驚嘆するばかり。大型機械での作業、作業班は皆若く操作や行動が機敏で称賛する次第である。これらの作業を可能にしたのが林内路網と言っても言い過ぎでない。軽トラックは通行でき間伐がより広く尾根まで見通しできるのである。

昨今生活環境は都市化して谷水を利用しないので裏山には行かない。山林は間伐がしていないため、下草が茂らず保水力がなく雨が降ると一気に谷に落ち町内の水路は溢れる。私は水の供給原点は山林にあると思う、この原点を守るため山主のみでなく町内が維持整備することで谷水が流れる環境に優しい町が生まれると常々考えています。

今回の事業で結果として雨水が土壌に吸い込まれ、落ち葉に保水され、今までの様に谷水路が削られることが無くなった。今後数年のうちに下床植生が回復し、十分に樹木を支え成長すると思います。

未来への想い



大原野村町
岡本弥一郎氏

この度京都市森林組合のご指導で、森林経営計画に大原野村工区を指定し集約間伐を実施されました。

今回事業完了しましたこと地域住民大変喜んでおります。山林への関心が身近になり我々森林所有者にとって再認識と先人から受け継いだ大切な森林(自然)を世代を超え、地域を超え、未来へ想いを共有する森づくりを進めていき、地域資源として山林を再生し価値ある産業を仕事として生み出し、新しい森づくりのため、今後とも京都市森林組合の事業実施に鋭意努力を地域一丸となつて行って参りたいと思いますので、何卒ご協力をお願い致します。



両氏よりこれからの励みになるコメントを頂き感謝すると共に十分な森林整備が管内津々浦々に行渡るよう努力して参ります。ありがとうございました。

円安と木材価格



2014年12月初旬、円 / 米ドルの為替は 1 ドル=120円を超えた。アメリカの経済成長が好調なことと日本経済再建への不安感から急激な円安がすすんだと新聞は伝えている。

経済や為替は山に向かって生活していると、どこか他人事のように感じるが林業にも関係が深い。

国産木材価格が上昇しない要因の一つに輸入木材との競争に勝てずシェアを占められている事があるが、円安のタイミングでは輸入木材の価格が高くなるために輸入木材を頼りにしている国内メーカーが材料調達を国産木材にシフトし、結果として国産木材の取引価格が上昇する。ただし、残念ながら主導権が輸入木材にある状況で国産木材の価格が上下していることを理解いただきたい。

一方、今回の円安傾向で注目していきたいこともある。アジア圏（特に韓国や中国）では日本木材がブームになっており、円安が追い風になり海外からの日本材需要が激増しているという、九州や東海で海運による木材輸出に力を入れてきた木材業界や港は活気づいているようだ。この状況について海外輸出への商材の準備と海外でのブームを仕掛けた事が好景気の下地にあることは言うまでもない。

輸出の例もあるが、国産の木材流通を活気づかせるためには山側が木材市場や木材メーカーに安定した供給（流通、量）を提供する体制づくりをすすめ、価格の主導権を国産木材にシフトしていくにつれ、国内での木材価格が上昇していくというのが今後の国産木材の理想である。

円安と木材価格、すこし身近に感じてもらえたでしょうか。

寒い冬にホットな話題 ～ユズは料理に最適～



冬の風物であるユズを使った料理のユズ大根とユズジャム作りを紹介します。

まず、ユズ大根は、大根の皮を剥いて輪切りにしたものを9等分に細長く切る。ユズを水洗いし、皮を剥いて2～3cmの長さ切る。容器に切った大根とユズと絞ったユズ汁を入れる。そこに塩、砂糖そして酢を入れ混ぜ合わせる。最後に焼酎を入れて混ぜ合わせる。重しをのせて10日間ほど漬けると出来上がり。

ユズジャムは、苦味をとる為に、刻んだユズの皮を軽く湯がいては、水気をきるという作業を何度か繰り返す。砂糖とユズの皮を鍋に入れ、ユズ汁を入れて煮詰める。アクをとりながら焦がさないように、煮詰めすぎると固くなるので注意が必要です。

以上料理の一例を紹介しましたが、ユズを採るのは要注意、昔から綺麗なものや、美味しいものには棘があります。しかしながらユズは料理に使うもよし、ユズ風呂で温まるもよし、寒い冬を乗り切るには万能な果実です。是非色々試してみてください!!

尚、詳しいレシピが必要であれば無料で“ユズ”りますので組合までお問い合わせください。



椎茸の種コマ「にく丸」



今年も椎茸の種コマ、「にく丸」が入荷しました。名前のとおり肉厚な椎茸が採れます。一度お試しを。1,000コマ / 3,300円（税込）

秋の紅葉が終りに近づくころにクヌギ、コナラ、ミズナラ、シイ、カシ、クリなどを伐ります。40～60日ほど葉枯らしをして、木口にひびが入るころ、1mほどの長さに玉伐りをします。（1,000コマで25～35本のほだ木に打てます。）ドリルで巾9.2mm、深さ25～30mmの穴をあけて菌を打ち込みます。内部の温度が18度以上にならないように保湿と保温を保ち、散水をして、こもなどを被せて2週間ほど仮伏せをします。その後本伏せをして、2年目の秋に収穫できます。

自分で育てた椎茸は格別おいしいです。ぜひお試しを!

なめこの種コマもあります。500コマ / 1,814円（税込）こちらもどうぞお試しを!たくさん採れたときは冷凍保存もできます。

薪を販売しております。京都市内で生産された薪はいかがですか? 身近で作られた薪なのでエコです。1束594円（税込）。20束以上無料配達できる地域もございますのでお問い合わせください。（TEL 075-722-3622 FAX 075-722-3696）

